

整備計画策定委員会がスタートしました！

日頃から市政の推進にご協力賜り、誠にありがとうございます。また、3月11日の東日本大震災において被災された方々には、改めましてお見舞い申し上げます。

さて、市ではこのたび「大甕駅周辺地区整備計画策定委員会」を設置いたしました。

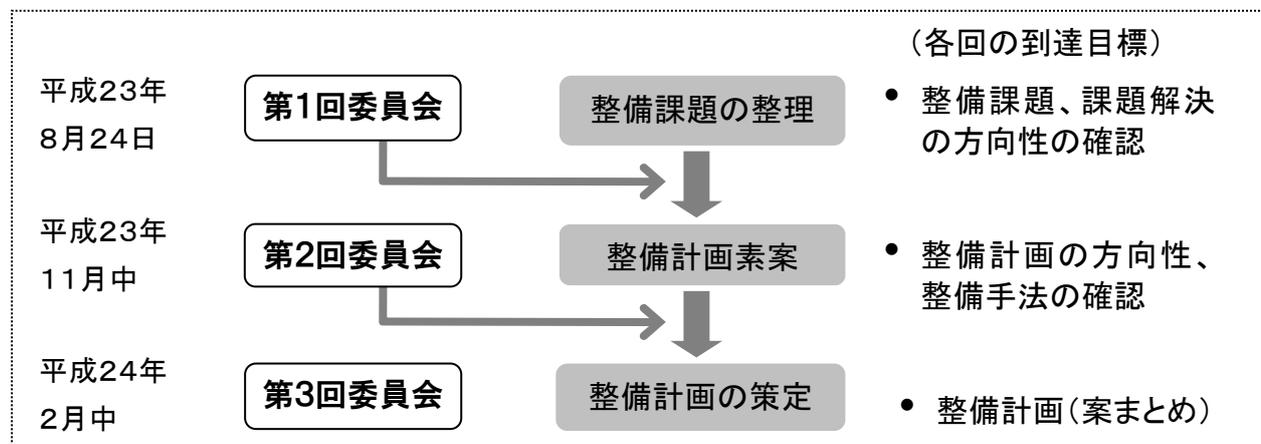
この委員会では、日立電鉄線跡地を活用した新交通導入事業との連携を図りながら、大甕駅周辺のまちづくりについて検討を行い、具体的な整備計画を策定していきます。

去る8月24日に「第1回大甕駅周辺地区整備計画策定委員会」を開催し、今後の委員会の進め方やまちづくりの方針などについて検討がなされましたので、その概要をお知らせします。

委員メンバー

学識経験者1名・商業関係3名・利用者及び地域の代表8名・交通事業者2名・行政関係8名の計22名です。

委員会の進め方



▽ 第1回委員会の様子



大甕駅周辺の整備課題をふまえ、以下のまちづくりの方針の提案があり、委員の皆さんに確認をいただきました。

まちづくりの方針

- 1 JR常磐線大甕駅舎改修により、駅構内の移動を円滑化し交通利便性の向上を図る。
- 2 自由通路整備により東西市街地の一体化を図ることによって、駅利用者の利便性を向上させるとともに東西交流を促進する。
- 3 大甕駅西側にBRT運行の交通拠点を整備することにより、交通流動の円滑化を促進する。
- 4 大甕駅西側に南北軸の道路ネットワークを形成することにより、周辺交通の円滑化を促進するとともに災害時等における緊急動線の確保を図る。
- 5 広域避難場所へのアクセス性を高めること等により、安心して住み続けられるまちづくりを進める。
- 6 既存の優れた自然景観を活かしながら、緑のネットワークと地域色豊かなまちづくりを進める。
- 7 市民、企業、学生等多様な主体の参加を得て協働のまちづくりを進める。

委員からの主なご意見

▼駅の東西自由通路ができるとう東口の商店街に
どう影響がありますか？

⇒現在は線路でまちの東西が分断されています。自由通路ができることでまちが一体化され、商店街にとってもプラスの効果があると思われれます。

▼駅周辺が整備されると坂下地区などの住民にど
ういうメリットがありますか？

⇒現在、坂下地区にお住まいの方が駅を利用するには、JR常磐線を越えて東側の駅前広場に行かなければなりません。駅西側に出入口が整備されれば、駅までのアクセス性を向上することができます。

▼駅周辺の施設整備は、作る側の思い込みだけでは利用されず、実際に使う地元の方々はどう考えるのかがないと利用されない。これからのまちづくり、ハード整備には地元の方々の意見が重要です。

計画づくりは、様々な意見を反映することが大切です。また、地域の皆様には丁寧に情報を発信していきます。



詳細については、日立市のホームページに掲載しています。

トップページ → まちづくり → 大甕駅周辺整備 → 大甕駅周辺地区の整備計画を策定しています
<http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/viewer/info.html?id=5649>

お問合せ・ご意見は…

日立市 都市建設部 都市政策課 まちづくり推進係

一般電話 0294-22-3111 (代表) 内線247, 756

IP電話 050-5528-5085 (直通)

E-mail toshiseisaku@city.hitachi.lg.jp

担当：佐川、鈴木